

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	熊本県苓北町	代表者名	田嶋章二		
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0969-35-1111		
担当者役職	主幹	担当者氏名	吉村俊彦	連絡先E-mail	
住所	863-2503 熊本県苓北町660				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	井上 英幸
評価	よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	今回は自治体DXを今後推進する上で重要となる、管理職の意識向上や組織内の連携についてアドバイザーより研修会形式で助言を頂いたが、事例を踏まえた分かりやすい内容で、受講者全員の理解度が高く、好評であったため。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月24日	13時00分	15時00分		120
3-2. 派遣場所	会場名	同上		最寄駅	熊本駅
	所在地	同上		最寄駅からの交通手段	同上
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】 副町長・教育長・職員(課長等管理職)	人数 15人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい) ・町長、副町長、管理職の理解(リーダーシップの醸成)	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・職員及び管理職・町長・副町長の意識改革	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	本町の副町長・教育長および管理職(課長・室長・事務局長)に対して、自治体DX推進の意義や今後推進する上での重点事項等を研修会形式で助言・提言を受けた。 特に、組織体制や組織内の連携、自治体DX推進によるデータの利活用等について重点的にお話し頂いた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	副町長を初めとして、本庁の幹部職員が、他人事ではなく自分事として、自治体DX推進はもとより、今後急速に進むあらゆる分野におけるデジタル化について、理解度を高めまた共通認識を持つことが出来た。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入下さい)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は助言・提言及び意見交換が主であり、アンケート実施の必要性がなかった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

